

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】(1)家庭への支援

細 施 策	①家庭教育の支援			担当課	担当課評価
				地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の親や小・中学校、高等学校の保護者を対象に、子どもの成長・発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供します。 ・身近な地域や学校をはじめとする豊かなつながりの中で家庭教育が行われるよう、指導者の養成に努めます。 				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。 また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。				
平 成 2 9 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA家庭教育学級委託事業:54校(延べ事業数236回、延べ参加者数7,351人) ・家庭教育学級運営講座:1回(参加者数:106人) ・保育園家庭教育講座:15回(参加者数:332人) ・幼稚園家庭教育講座:8回(参加者数:265人) ・高等学校家庭教育講座:1回(参加者数:140人) ・親の学習講座:23回(参加者数2,066人) ・家庭教育講座登録講師研修会:1回(参加者数:13人) 				
成 果 実 績	項目名(単位)	H27	H28	H29	
	幼保高家庭教育講座(回)	25	23	24	
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	54	
現 状 ・ 課 題	PTA家庭教育学級については、全54校に委託し、各PTAごとに特色ある家庭教育学級を実施し、家庭の教育力の向上が図れました。また、保育園・幼稚園・高等学校家庭教育講座については、公立保育園・私立幼稚園、高等学校で計24回実施し、順調に進捗しています。				
改 善 の 方 策 等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。 また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。				

細 施 策	②学童保育の充実			担当課	担当課評価
				教育財務課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労等により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。 ・学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。 ・放課後児童支援員(学童保育指導員)の確保と資質の向上に努めます。 				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘化した学童保育室については、第四次川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用等を図ってまいります。 ・指導員の確保については引き続き募集してまいります。 				
平 成 2 9 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の学童保育室を利用する児童数は2,617人でした。(全児童に占める割合は14.6%、入室を待機している児童はいない) ・南古谷学童保育室他2室の改築、改修工事を行い、狭隘化対応として川越第一学童保育室他6室の増室を行いました。 ・放課後児童支援員認定資格研修に学童保育指導員45名を受講させました。 				
成 果 実 績	項目名(単位)	H27	H28	H29	
	年度当初の入室児童数(人)	2,166	2,338	2,617	
	学童保育室施設設備等の工事、修繕数(件)	118	124	140	
	放課後児童支援員認定資格研修受講者数(人)	32	40	45	
現 状 ・ 課 題	年度当初の入室児童数は増加していますが、余裕教室の転用等を行い、申請があった入室要件を満たした児童をすべて受け入れており、児童の放課後等の居場所確保を図ることができました。また、放課後児童支援員資格認定研修について計画的に受講させています。 入室児童数の増加に伴い、受け入れに必要な保育スペース及び指導員の確保について課題があります。				
改 善 の 方 策 等	狭隘化した学童保育室については、川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用を行っていきます。また、指導員の募集方法等を工夫し、必要数の指導員が確保できるよう努めます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱		(1) 家庭への支援			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①家庭教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②学童保育の充実	教育財務課	B		
学識経験者等 意見	・必要数の指導員を確保できるように学童指導員の処遇の改善に努めていただきたい。				A

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上
 【施策の柱】(2)地域の教育力の向上

細 施 策	①学校・家庭・地域の連携推進						担当課	担当課評価
							地域教育支援課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域の連携・協働により、地域ぐるみの教育の充実に努めます。 ・地域の特色を生かした体験活動と学校応援団活動の充実に努めます。 ・子どもたちの「生きる力」を育むため、家庭や地域の教育力の向上に努めます。 ・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めます。 							
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者数は、子供たちの実態に即するよう、活動内容の改善を続け、更に多くの児童生徒が参加できるよう支援していきます。 ・学校応援団活動については、学校の要望等を各地区に伝え、活動が更に充実されるよう支援していきます。 							
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート委員会によるイベント型事業数140件(延べ参加者数18,720人) ・子どもサポート委員会による学校応援団活動数2,071件(延べ参加者数22,370人) ・子どもサポート委員会開催数105回(延べ参加者数2,278人) 							
指標及び説明	【指標】 子どもサポート事業への参加者数				【説明】 市内14地区の子どもサポート事業への参加者数			
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)
			H27	H28	H29	H30	H31	
	人	32,935	41,765	50,841	43,368			33,330
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者数は、各地区が学校と連携し、子ども達の実態に即して活動内容の改善を行っていることにより、目標を上回っています。 ・学校応援団活動については、学校の要望を受けた各サポート委員会で活動の広がりが見られ、内容も充実し、順調に進捗しています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業については、子どもたちの実態に即するよう、学校と地域がより多くの情報を共有し、活動内容の改善を続け、更に多くの児童生徒が参加できるよう支援していきます。 ・学校応援団活動については、各地区における活動について、サポート委員会同士の認知を深め、活動の幅を広げることでより多くの学校の要望に応えられるよう、活動の更なる充実に向けて支援していきます。 							

細 施 策	②社会教育関係団体への支援						担当課	担当課評価
							地域教育支援課	A
施策の内容	子どもたちの学びや体験活動の充実を図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。							
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会に対し、今後も引き続き同様の支援を行ってまいります。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、今後も引き続き同様の支援を行ってまいります。 							
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市PTA連合会及び市子ども会育成団体連絡協議会に対する事業費の補助並びに共催事業の実施。 ・市P連主催事業:PTA広報紙「P連かわごえ」年3回発行(7月、12月、3月)、広報紙コンクール開催。PTA講演会。PTA研究集会。県内視察研修開催。 ・市子連主催事業:広報誌「ひろば」年4回発行。県外視察研修、子ども会かるた大会の開催。 ・市子連との共催事業:ジュニアリーダースクール年6回、育成者研修会年2回開催。 							
成果実績	項目名(単位)		H27	H28	H29			
	川越市PTA講演会参加者数(人)		330	272	236			
	川越市ジュニアリーダースクールの登録者数(人)		365	371	403			
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会主催事業は、計画どおり実施されており、順調に進捗しています。なお、PTA講演会の参加者数が、H27年度は、市P連創立60周年事業としても実施したため、例年より参加者数が増加しております。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会主催事業及び共催事業は計画どおり実施されており、順調に進捗しています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会に対し、今後も引き続き同様の支援を行ってまいります。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、今後も引き続き同様の支援を行ってまいります。 							

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上
 【施策の柱】(2)地域の教育力の向上

細 施 策	③地域の教育活動への支援							担当課	担当課評価
								中央公民館	B
施 策 の 内 容	町内(字町)公民館講座や公民館登録グループの公開講座等の開設を支援するとともに、各種団体との連携による活動を通じ、地域の教育活動を支援します。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き、地域の教育活動が活発になるよう、地域教育活動団体の教育事業等を支援・連携していきます。								
平 成 2 9 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内等の公民館において、地域の教育活動の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とする95講座(175,373人)を支援しました。 ・公民館と地域団体との共催事業の講座数256講座、参加者延べ人数29,809人。 ・地域団体が主催し、公民館が事務支援している団体数53団体、参加者延べ人数9,349人 								
指 標 及 び 説 明	【指標】 講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館登録グループの公開講座等の講座数及び参加者延べ人数				
指 標 の 推 移	単 位	現 在 値 (H26)	実 績 値					目 標 値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	講座	292	280	237	256			300	
	人	24,907	29,306	28,087	29,809			25,000	
現 状 ・ 課 題	公民館登録グループの公開講座等を積極的に展開していますが、登録グループ数そのものが減少傾向となっています。								
改 善 の 方 策 等	各館において、講座数及び参加者数の目標設定を行うとともに、公民館登録グループの育成に努めてまいります。 また引き続き、それぞれ地域の特性を生かしながら、地域の教育活動が活発になるよう、地域教育活動団体の教育事業等を支援・連携していきます。								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

施 策 の 柱	(2)地域の教育力の向上				
施 策 評 価	細 施 策	担 当 課	施 策 評 価		総 合 評 価
			細 施 策	施 策 の 柱	
	①学校・家庭・地域の連携推進	地域教育支援課	A	A	
	②社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	A		
③地域の教育活動への支援	中央公民館	B			
学 識 経 験 者 等	・民間の講座に参加している可能性が高いと思われる若年層や壮年層の人達がどのようにしたら公民館において自主的な活動を行うのかという視点で、講座の設定の仕方を工夫していただきたい。				A

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(1)生涯学習を推進する基礎づくり

細 施 策	①生涯学習を推進するための体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課・中央公民館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用しやすい「市民活動・生涯学習施設」の充実に努めます。 ・市民の生涯学習活動を支援する職員の意識啓発や資質を高めるための研修を実施します。 ・協働に関する研修を実施し、市民と行政が連携した事業の推進を図ります。 					
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者と連携し、「市民活動・生涯学習施設」の適正な管理運営をしてまいります。 ②他の事業や会議等と重ならないよう、調整を図りながら、公民館職員研修会を実施していきます。 ③研修の対象職員、実施内容等を見直す必要があります。 					
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①「市民活動・生涯学習施設」において、指定管理者による提案事業講座を約400時間実施しました。 ②基本法令及び公民館の事業企画の手法を学ぶための公民館職員研修会を5回開催しました。(参加者55名) ③川越市協働事業審査委員会の委員を務めている大学教授を講師に招き、協働に関する研修を実施しました。(参加者75名) 					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	市民活動・生涯学習施設平均稼働率(%)	39.0	56.5	61.4		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ①「市民活動・生涯学習施設」は、施設の認知度が高まり、平成27年度の供用開始時より稼働率が上がってきています。 ②公民館職員研修会は、研修内容のマンネリ化等から、参加者が少なくなっていることが懸念されています。 ③研修内容を見直し、職員も各課の担当リーダー級の者を対象として開催しましたが、市職員全体の協働に対する意識の向上という点で課題があります。 					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者と連携し、「市民活動・生涯学習施設」の適正な管理運営をしてまいります。 ②ボランティア養成講座と共同で実施するなど他の事業とも調整を図りながら、公民館職員研修会を充実していきます。 ③研修の実施内容や受講対象者等を見直す必要があります。 					

細 施 策	②市民参加の体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課・中央公民館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政の情報交換や相互交流を充実させ、行政の事業等に参加しやすい体制の充実に努めます。 ・市民と行政との協働を効果的に達成するため、「協働推進事業制度」を積極的に推進します。 ・地域活動を推進する人材の発掘に努めます。 					
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館運営協力委員会が、新たな公民館事業の提案を行う等の役割を担っていく必要があります。 ②提案型協働事業の補助金の補助率、補助対象経費、事業募集のスケジュール等の要件を見直す必要があります。 ③市民講師(主宰者)募集については、周知方法の充実に努めます。 					
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①17公民館で、公民館運営協力委員会を延べ36回実施しました。【延べ308名の参加】 ②市民活動団体等から提案のあった12事業に対し、川越市協働事業審査委員会にて審査を行い、補助金を交付しました。(1事業は交付決定後辞退) ③市民講師(主宰者)を募集する市民講座を、前期29講座、後期15講座の計44講座実施しました。 					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	提案型協働事業補助金応募件数(件)	12	11	12		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館運営協力委員会が公民館利用団体等との情報交換のみの場となっています。 ②応募件数が毎年横ばいで推移しており、応募件数の増加に向けた取り組みが必要です。 ③市民講座は、市民講師の応募が少ないと結果的に実施講座が少なくなってしまうことから、年度によって応募件数にばらつきがあり、一定していません。 					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館運営協力委員会が、それぞれの地域の特性を生かしながら、新たな公民館事業の提案を行う等の役割を担っていく必要があります。 ②補助金の補助率、補助対象経費、募集スケジュール等の要件を見直すとともに、市民活動団体等への広報に努めます。 ③市民講師(主宰者)募集については、HP、メール配信、ツイッター、ポスター等の広報活動の充実に努めます。 					

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(1)生涯学習を推進する基礎づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①生涯学習を推進するための体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B	B	B
	②市民参加の体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B		
学識経験者等 意見等	<p>・ウェスタ川越の会議室等の予約については市民にとって利用しやすい手続き方法を検討していただきたい。</p> <p>・生涯学習を推進するためには職員の資質の向上が不可欠であるとする。</p> <p>・社会教育主事の資格を取得した職員については、資格を生かして力を発揮したり、スキルを職場に蓄積したりできるように、ある一定期間は同じ職場に留まるように在籍期間を考慮していただきたい。</p> <p>・市民センターにおける窓口業務と公民館業務は、異なる業務内容なので担当を分けて、公民館業務担当職員の育成を図っていただきたい。</p>				B

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(2)市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実

細 施 策	①学習ニーズの把握				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	市民意識調査や講座受講後の満足度調査等、各種アンケート等の調査活動を実施し、市民の学習ニーズの把握に努めます。					
前年度の改善の方策等	市民の学習ニーズを把握するため、アンケートの回収率をあげるよう努めます。					
平成29年度実績	川越大学間連携講座を実施した4大学において、受講生に対しアンケートを実施しました。(回収率90.21%)また、高校生小説大賞関連事業「小説の書き方講座」において、アンケートを実施しました。					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	アンケート調査実施回数(回)	4	5	5		
現状・課題	アンケート調査実施回数の成果実績は、計画どおり実施することができ、大学間連携講座のアンケートの回収率も昨年度より6.25%増加し、順調に進捗しています。また、アンケート結果は、次回講座の参考となるよう講座を実施した各大学や講師にも情報提供しています。					
改善の方策等	市民の学習ニーズを把握するため、引き続きアンケートを実施していきます。					

細 施 策	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	生涯学習情報誌「マナビガイド」の発行や、ホームページやSNS等を活用した情報提供を行います。					
前年度の改善の方策等	「マナビガイド」に情報を掲載している公共施設等のうち、設置していない施設があるため、配布の協力を依頼するよう努めます。					
平成29年度実績	「マナビガイド」は、年間12回(毎月末)発行し、文化芸術振興課や市内公共施設に設置しました。また、川越市公式ホームページに掲載するとともに川越市ツイッター公式アカウントで、毎月新号の発行を周知しました。 配布している箇所に、残数の調査を行い、平成30年度における配布数の参考といたしました。					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	生涯学習情報誌マナビガイド配布箇所数(箇所)	45	46	47		
現状・課題	川越まつり会館への配布が増え、順調に進捗しています。					
改善の方策等	「マナビガイド」に情報を掲載している公共施設等に、引き続き配布を行うよう努めます。					

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(2) 市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学習ニーズの把握	文化芸術振興課	A	A	A
	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供	文化芸術振興課	A		
学識経験者等	・学習ニーズの把握のため、事業の参加者に対するアンケートだけではなく、生涯学習に関する全市的なアンケート調査を行っていただきたい。				

細 施 策	①ライフステージにおける課題の学習				担当課	担当課評価
					中央公民館	B
施策の内容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。					
前年度の改善の方策等	生涯の各時期に生じる課題を取り上げ、充実した学習機会を提供していきます。					
平成29年度実績	ライフステージにおける課題の学習の講座数162講座、参加者延べ人数36,550人					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	ライフステージにおける課題の学習の公民館主催事業参加者数	33,960	37,727	36,550		
現状・課題	講座の回数は横ばい、参加者数は減少傾向にあります。例年同様な事業を展開しているため、内容がマンネリ化していることが懸念されます。					
改善の方策等	公民館職員研修を充実させ、魅力ある事業を企画していく必要があります。 また、生涯の各時期に生じる課題を取り上げるとともに、時代に即したテーマを取り上げ、さらなる学習機会の提供に努めます。					

細 施 策	②現代的課題の学習							担当課	担当課評価
								中央公民館	C
施策の内容	社会的に要請されている環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。								
前年度の改善の方策等	日常生活と結びつく、身近な問題や課題を取り上げ、充実した学習機会の提供に努めます。								
平成29年度実績	現代的課題の学習の講座数107講座、参加者延べ人数7,220人								
指標・説明	【指標】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者延べ人数				
	単位	現在値 (H26)	実績値						目標値 (H32)
指標の推移	講座	128	H27 130	H28 103	H29 107	H30	H31	H32	130
	人	20,152	17,963	7,609	7,220				21,000
現状・課題	講座の回数は横ばい、参加者数は減少傾向にあります。例年同様な事業を展開しているため、内容がマンネリ化していることが懸念されます。								
改善の方策等	公民館職員研修を充実させ、魅力ある事業を企画していく必要があります。 また、日常生活と結びつく、身近な問題や課題を取り上げるとともに、地域のニーズに即した学習機会の提供に努めます。								

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	B	B	B
	②現代的課題の学習	中央公民館	C		
学識経験者等 意見	<p>・環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的な課題の学習については市民の方々に課題として認識していただけるように、講座の企画の仕方、課題の立て方等を工夫していただきたい。</p> <p>・様々な働きかけをして実績が目標値に近づくように努力していただきたい。</p>				

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】(4)人権施策の推進

細 施 策	①人権教育の充実				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施策の内容	・人権教育の一環として、児童生徒による人権作文・人権標語・人権絵画の取組を通して人権意識の高揚に努めます。 ・人権教育推進事業を公民館・小学校・中学校に委嘱するとともに、人権教育実践報告会やPTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会を実施し、同和問題などの人権問題の解決を目指します。					
前年度の改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					
平成29年度実績	・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進 ・人権絵画展「いのち・こころを大切に」の開催 3日間226人 ・人権作文発表(人権教育実践報告会)6人 ・「川越市の人権教育」の中に人権教育推進事業委嘱館・委嘱校(3公民館区:3館11校に委嘱)の実践や授業研究会の記録などを「人権教育実践収録」としてまとめました。					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	827	835	812		
	委嘱小・中学校数(校)	10	10	11		
現状・課題	人権作文・標語・絵画については、優秀な作品を人権文集「あけぼの」に掲載し、人権教育啓発資料として活用できました。 「川越市の人権教育」(人権教育実践集録)を人権教育推進資料として活用できたことなど、順調に進捗しています。					
改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					

細 施 策	②人権啓発資料の活用				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施策の内容	各種人権啓発資料を作成するとともに、児童生徒をはじめ市民に配布することで人権意識の高揚に努めます。					
前年度の改善の方策等	今後も人権啓発資料の活用に努めます。					
平成29年度実績	・川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会開催 ・人権文集「あけぼの」発行 3,150部 ・人権カレンダー発行 40,000部 ・川越市人権教育推進協議会広報紙「人権かわごえ」発行(年2回) 30,000部					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会参加者数(人)	222	228	238		
	人権カレンダー発行(部)	40,000	40,000	40,000		
現状・課題	川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会では、活発な意見交換もあり、充実した時間を過ごすことができました。また、人権教育啓発資料は、児童生徒に対し学校の授業で、保護者に対してはPTA家庭教育学級で、そして一般の市民の方に対しては、公民館の人権教育指導者養成講座で、それぞれ活用しています。					
改善の方策等	今後も人権啓発資料の内容の充実に努め活用の促進を図ります。					

細 施 策	③人権教育指導者の養成				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	家庭や職場、地域社会における人権問題の解決を目指して、PTA家庭教育学級の人権教育講座や公民館の人権教育指導者養成講座を開催し、身近な人権教育指導者の養成を図ります。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	人権教育講座担当者の確保や講座開設・募集等について検討していきます。指導者養成講座では、人権感覚育成プログラムを取り入れた体験型の講座やDVDなどの視聴覚教材を取り入れ話し合い型の講座など講演会だけでなく参加意欲を向上させるような内容を取り入れるなど、事業の充実に努めます。					
平 成 2 9 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における人権教育指導者養成講座の実施(17公民館で実施 88講座 参加者数3504人) ・小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座の実施(5回 参加者数178人) ・啓発用DVDを活用した講座の実施(11講座/(88講座+5講座)) 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数	3,844	3,845	3,504		
	小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座参加者数	149	167	178		
現 状 ・ 課 題	公民館登録グループの公開講座等を積極的に展開していますが、登録グループ数そのものが減少傾向となっています。また、講座数や参加者数は前年度と比較すると減少していますが、1講座の平均参加者数が約40人となっていることから、当課で想定している1講座平均30人を上回っており、順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	引き続き、地域の人権教育活動が活発になるよう、公民館と連携し人権教育を充実していきます。					

細 施 策	④関係機関・団体等との連携				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。 ・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。 					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。					
平 成 2 9 年 度 実 績	集会所事業として、青少年を対象に習字教室、フレンドスクールを実施(参加人数1132人)。成人対象で指導者養成講座、成人学習講座等を実施(参加人数101人)。女性対象で女性講座を実施(参加人数94人)。高齢者対象で高齢者学級講座を実施(参加人数129人)。集会所事業の成果発表の場としての集会所ふれあいまつり開催(参加人数314人)。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	集会所事業 講座・教室参加者数(人)	2,865	2,836	2,634		
	ふれあいまつり参加者数(人)	262	285	314		
現 状 ・ 課 題	小堤集会所における各講座・教室については、参加者の固定化が目立ち参加者数がやや減少しているものの、ふれあいまつりやフレンドスクールについては、多くの子どもたちの参加があり、順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。					

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権施策の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①人権教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②人権啓発資料の活用	地域教育支援課	A		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	A		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	A		
学識経験者等 意見	なし				A

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(5)身近な学習施設の整備・運営

細 施 策	①公民館の設置				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進については、平成29年度に本体工事を着工予定です。 ・霞ヶ関北公民館整備推進については、基本設計に向けての予算確保に努めるとともに、建設予定地の安全管理に努めてまいります。 ・(仮称)西公民館建設推進については、地元有識者による建設検討懇話会が開催されるよう助言協力を行い、施設機能の検討を進めてまいります。 					
平 成 2 9 年 度 績 実	(仮称)霞ヶ関西公民館建設:本体工事・電気工事・給排水工事の着工。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	設計業務委託契約の本数(件)	1	1	0		
	建設工事請負契約の本数(件)	0	0	3		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進:平成29年度は本体工事等を着工し、順調に進捗しています。 ・霞ヶ関北公民館整備推進:平成25年7月に建設検討懇話会から提言書が提出されましたが、平成29年度は予算確保に至らず、建設予定地の管理を行っているのみの状況です。 ・(仮称)西公民館建設推進:平成26年6月に検討懇話会から提言書が提出されていますが、今後庁内において更に検討が必要な状況です。 					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進については、平成30年度中に竣工予定です。 ・霞ヶ関北公民館整備推進については、建築設計等に向けての予算確保に努めるとともに、建設予定地の安全管理に努めてまいります。 ・(仮称)西公民館建設推進については、地域住民のご意見を伺いながら、庁内で検討を進めてまいります。 					

細 施 策	②既存公民館の整備・運営				担当課	担当課評価
					中央公民館	B
施 策 の 内 容	既存の公民館については、大規模改修工事等を計画的に実施し、利用しやすい学習施設となるよう整備運営に努めます。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	市民にとって、地域の身近な学習施設として利用されるよう努めます。					
平 成 2 9 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・川鶴公民館工芸室冷暖房設備設置工事、芳野公民館冷暖房設備改修工事及び山田公民館屋上防水等改修工事を実施しました。 ・全公民館からの修繕等要望件数17件のうち、修繕等実施件数は14件です。 また、突発修繕を96件行っていますので、計110件の修繕等を実施しています。 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	修繕要望件数の実施率(%)	47	67	82		
現 状 ・ 課 題	建築後30年以上の公民館が12館あり、予定外の突発修繕が多くなっています。					
改 善 の 方 策 等	市民にとって、地域の身近な学習施設として利用されるよう努めます。					

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(5) 身近な学習施設の整備・運営			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	B	B	B
	②既存公民館の整備・運営	中央公民館	B		
学識経験者等 意見	なし				

細 施 策	①図書館サービスの充実							担当課	担当課評価
								中央図書館	C
施策の内容	市民のさまざまなニーズに対応した図書館サービスの向上を図る取組を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスに努めます。								
前年度の改善の方策等	市民のさまざまなニーズに対応した、多面的な観点からの資料の提供を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスのPRに努めます。								
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は、本・雑誌・AV(視聴覚)資料の貸し出しを1,758,562冊行いました。 障害者サービスでは、録音図書(2,914タイトル)や点字図書(59タイトル)の貸し出しを行いません。また、作成した録音図書(3,776タイトル)、点字データ(1,243タイトル)のダウンロード利用がありました。 大活字本、布絵本、拡大写本など誰もが読書を楽しめる多様な資料を用意した「りんごの棚」を全館に設置しました。 								
指標及び説明	【指標】 図書館の貸出冊数				【説明】 市立図書館の本・雑誌・AV資料の貸出総数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
	冊	1,845,426	H27 1,848,799	H28 1,803,754	H29 1,758,562	H30	H31	H32	1,950,000
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数の総数実績値が、平成28年度実績値に対して約3%と減っているため、進捗はあまり順調ではありません。 録音図書は、平成28年度(3,362タイトル)と比較して約14%、また、点字図書は、平成28年度(67タイトル)と比較して約12%減っております。しかし、作成した録音図書は、平成28年度(2,929タイトル)と比較して28%、点字図書は平成28年度(555)と比較して約220%ダウンロード利用が増えております。 								
改善の方策等	市民のさまざまなニーズに対応した、多面的な観点からの資料の提供を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスのPRに努めます。								

細 施 策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実							担当課	担当課評価
								中央図書館	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 多様な市民要望に応えるため、充実した図書館サービスを実施する上で必要となる各分野の資料収集に努めます。 市民の学習・研究活動支援の充実を図るため、他の図書館等との連携や情報の提供サービス機能の充実に努めます。 								
前年度の改善の方策等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充するため、中央図書館の書架増設等について検討していきます。								
平成29年度実績	蔵書数は中央図書館が495,884冊、西図書館が174,615冊、川越駅東口図書館が74,260冊、高階図書館が113,547冊で合計では858,306冊です。								
指標及び説明	【指標】 図書館の蔵書数				【説明】 市立図書館の蔵書総数(視聴覚資料含むが、新聞・雑誌は除外)				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
	冊	836,315	H27 843,893	H28 852,908	H29 858,306	H30	H31	H32	860,000
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績は、858,306冊で、平成29年度想定目標値を達成しており、順調に進捗しています。 今後、中央図書館の収蔵能力を拡充するためには、収蔵場所の確保が問題となっています。 								
改善の方策等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充するため、中央図書館の書架増設等について検討していきます。								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(6)市立図書館の充実

細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進							担当課	担当課評価
								中央図書館	A
施 策 の 内 容	幅広い世代で構成される市民の、多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を推進します。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。								
平 成 2 9 年 度 実 績	乳幼児から児童を対象とした各種おはなし会や、作家による講演会、郷土資料を活用した講座、バリアフリー映画会などを開催しました。								
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の事業開催回数				【説明】 各種おはなし会や講演会など市立図書館が主催する図書館を活用した事業の開催回数				
	単位	現在値 (H26)	実 績 値					目標値 (H32)	
指 標 の 推 移		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	回	456	472	479	501			470	
現 状 ・ 課 題	乳幼児から児童を対象とした各種おはなし会や、郷土資料を活用した博物館との共催事業、バリアフリー映画会などを開催し、実績は順調です。								
改 善 の 方 策 等	引き続き多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】2 生涯学習活動の推進

施 策 の 柱	(6)市立図書館の充実				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①図書館サービスの充実	中央図書館	C	A	
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	A		
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	A			
学 識 経 験 者 等 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・高度化している市民ニーズに対応できるよう、司書等の専門の職員の確保・充実に努めていただきたい。 ・本を読むことの有用性・有益性を伝える活動を今後も継続していただきたい。 ・収蔵能力の拡充は、市全体の施設建設と関連することなので、総合計画に位置付けて進められるように努めていただきたい。 				A

細 施 策	①展示機能の充実							担当課	担当課評価
								博物館	C
施策の内容	常設展示の見直しを検討し、新たな学術的成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるよう研究を進め、展示機能の充実を図ります。								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の見直しについては、具体的な検討を引き続き継続し、今後、スムーズに設計・工事へ移行できるように準備を進めます。 ・企画展等の内容については、市民の関心・興味を把握し、時機を見据えたテーマが設定できるよう工夫していきます。また、他団体等との共催・共同企画も積極的に進めます。 								
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の見直しについては、博物館内部で現状の課題と改修案を出し合い検討を進めております。 ・企画展示では第26回収蔵品展「絵図・地図で読み解く川越」、「平成29年新作名刀展-現代の刀工と刀職-」、「家康没後400年記念特別展 徳川家康と天海大僧正-家康の神格化と天海-」、「第27回収蔵品展 三芳野神社とその社宝」を開催しました。 ・他団体との共催として、企画展示に合わせワークショップを開催しました。 ・平成29年度の博物館の入館者数は89,563人で前年度と比べて6,953人の減少となりました。 								
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	人	98,205	H27 98,025	H28 96,516	H29 89,563	H30	H31	H32	100,000
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室の見直しについて短期的に実現可能な展示品の入れ替えを実施し、展示機能の充実はおおむね順調に進捗しています。しかし、博物館入館者は89,563人と前年度と比べて6,953人減少しており(前年比約93%)、常設展示室の根本的な改修が必要です。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、中長期的な常設展示室の改修をめざし、具体的な展示案を検討し、機会を捉えて設計・工事に移行できるよう準備を進めます。 ・また、企画展・特別展は市民・来館者の関心・興味を把握し、常設展示に反映できる内容でのテーマ設定を検討します。 								

細 施 策	②郷土資料の収集・保存							担当課	担当課評価
								博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。 ・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足しているため、効率的な収蔵保管に努めるとともに、新たな収蔵施設の確保を検討します。 								
前年度の改善の方策等	郷土資料は、現地保存ができない場合には博物館で寄贈・寄託により受け入れる必要があります。引き続き効率的な収蔵に努めるとともに、新たな収蔵スペースの検討を進めます。貴重な資料については、購入できない場合、寄託による収集を積極的に進めます。								
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は購入資料2点、寄贈資料174点を受け入れ、収蔵資料の累計は38,161点となりました。また、市内の個人から寄託された地域関係資料を整理し、「小杉権次郎氏収集文書・旧鍛冶町名主北野家文書目録」「川越喜多町名主御用日記三」「川越藩松平大和守家記録三」を刊行しました。 ・資料の収蔵については、市の既存施設を暫定的に使用し保存に努めています。 								
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
	点	37,746	H27 37,816	H28 37,985	H29 38,161	H30	H31	H32	40,000
現状・課題	平成29年度は購入資料2点、寄贈資料174点と収蔵資料点数は着実に増加し、博物館資料の収集・保存はおおむね順調に進捗しています。しかし、収蔵スペースが不足しているため大型民具等の寄贈の受け入れを制限せざるを得ない場合もあり、収蔵スペースの確保が課題です。								
改善の方策等	収蔵資料の効率的な保管を進めるとともに、新たな収蔵スペースの確保に向け、さらに検討を進めます。また、貴重な郷土の歴史資料について積極的に収集を行います。								

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化						担当課	担当課評価
							博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。 小・中学校等との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。 							
前年度の改善の方策等	各種事業では応募者が定員を上回り、参加された方の満足度も9割以上を維持していますが、今後も引き続き市民ニーズに配慮しながら、魅力ある内容を企画し、併せて広報活動の充実を図ります。							
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 大人向け事業の参加者数は2,381人で満足度は94.1%、子ども向け事業は1,621人で満足度は95.9%でした。 教育活動の一環として博物館を利用した学校は、学校側の事情やインフルエンザ流行の影響があり、市内延べ84校6,927人、市外265校24,805人で、総計349校31,732人でした。 							
指標及び説明	【指標】			【説明】				
	①博物館講座・教室受講満足度 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数			①受講者アンケートにおいて「大変よかった」及び「よかった」と回答のあった割合 ②小・中学校等の博物館活用の年間学校数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)
			H27	H28	H29	H30	H31	H32
	① %	95.3	95.1	93.1	95.0			97.0
② 校	358	354	376	349			370	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 講座、教室等の事業については、参加者のアンケート結果、ボランティアの意見、反省点等を加味しながら検討した結果、前年より1.9%満足度が増加し、おおむね順調に進捗しています。 学校利用については、各学校の来館時期が重なってしまう傾向があり、またインフルエンザ等の影響もありますが、おおむね順調に進捗しています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 講座、教室の参加者の満足度をさらに高めるためには、より一層参加者の興味関心をひくような工夫が必要であり、講師や内容、進め方について改善を図ります。 学校利用については、内容、時期等できるだけ学校の要望に沿えるようさらに努めます。 							

細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備						担当課	担当課評価
							博物館	B
施策の内容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。							
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 博物館の機能を十分に発揮するためには、施設の適切な維持が必要なため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めます。 蔵造り資料館につきましては、平成26年度よりはじまった耐震化事業を進めます。 							
平成29年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 博物館については、老朽化にともなう施設修繕(冷水器修繕、屋根修繕、町並み復元模型解説映像機器修繕等)を行い、博物館機能を維持するための整備に努めました。 蔵造り資料館については、耐震化事業の工事範囲の見直しを行い、入札を実施しました。その結果、6月に落札業者が決定し、現在工事を進めています。 							
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29				
	施設・設備の修繕件数(件)	20	18	8				
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 博物館については、機能を維持するための応急的な修繕を実施してきました。施設の老朽化にともなう修繕を必要とする箇所を多く抱えている現状ですが、必要な修繕は着実に実施されており、おおむね順調に進捗しています。 蔵造り資料館については、掘削時における想定外の礎石出土等により再検討が必要となり、工期に遅れが生じています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 博物館の機能を十分に発揮し、施設を適切に維持・管理していくため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めていきます。 蔵造り資料館については、監督員、監理者、施工業者との事前協議を確実にし、これ以上の遅れがないよう工事を進めていきます。 							

【方向性】 II - 活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(7) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	C	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	B		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	B		
学識経験者等 学意 見 者 等	なし				B

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】(8)高等教育機関との連携の推進

細 施 策	①高等教育機関との連携体制の充実				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の発展と人材育成に寄与するため連携体制を整えます。 ・教育、文化、まちづくり等の分野において市内の大学等と協力します。 					
前年度の改善の方策等	連携会議の開催を進める等、各大学と連携を密にし、大学との連携体制の充実に努めます。					
平成29年度実績	川越市と大学との連携に関する基本協定に基づき、大学のもつ研究・教育機能との連携を進めるため、連携会議を開催しました。(東洋大学1回19課所、女子栄養大学1回11課所)					
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29		
	川越市の連携会議参加課所数(延べ)	36	59	30		
現状・課題	平成28年度まで東洋大学とは、年に2回会議を行っていましたが、より内容を充実させるため開催時間を長くとることにより、29年度より年1回に変更しました。女子栄養大学とは昨年度に引き続き、会議を開催することができました。					
改善の方策等	毎年度、庁内各部署に連携調査を行い、市から大学、又は大学からの市への要望をとりまとめ、関係部署への取り次ぎを行い連携体制の充実に努めます。					

細 施 策	②共催による講座等の充実							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	A
施策の内容	市内4大学との連携により、各大学の特徴を生かした講座を開催し、高度で体系的な生涯学習の機会の拡充を図ります。								
前年度の改善の方策等	引き続き、市内4大学と連携し、連携講座の実施と講座内容の充実に努めます。								
平成29年度実績	市内4大学と連携講座を実施し、255人の参加がありました。 ・東洋大学「アートセラピー～芸術がもたらす癒しとコミュニケーション～(6回)」受講者75人 ・東京国際大学「グローバル社会と情報ギャップ(1回)」受講者31人 ・尚美学園大学「江戸時代中期の個性派画家たち(3回)」受講者69人 ・東邦音楽大学「作曲の秘密を解き明かす(3回)」受講者80人								
指標及び説明	【指標】川越大学間連携講座の受講者数				【説明】市内4大学との連携・協働による川越大学間連携講座の合計受講者数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31		H32
	人	251	362	193	255			280	
現状・課題	平成24年度から市内4大学との連携講座として実施しています。平成29年度も昨年度に引き続き4大学と実施し、回数及び受講者数も増やすことができ、順調に推移しています。								
改善の方策等	引き続き、市内4大学と連携し、アンケートの結果をいかした連携講座の実施と、より多くの市民の方に受講してもらうよう広報活動の充実に努めます。								

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(8) 高等教育機関との連携の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①高等教育機関との連携体制の充実	文化芸術振興課	B	A	A
	②共催による講座等の充実	文化芸術振興課	A		
学識経験者等	<p>・それぞれの大学の特性を生かして、今後、さらに連携を進めていただきたい。また、講座の実施に際しては、講座の在り方や進め方、募集の方法等について、大学側と協議し進めていただきたい。</p>				A